

2012 学校案内



全日制課程 普通科

福島県立双葉高等学校



充実した教育環境を整備します



< 1年生 >

国・数・英を中心に少人数教育を展開し、基礎学力の定着を目指します。

< 2年生 >

カリキュラムを文型、理型に分け、進路に応じたきめ細かい学習を行います。

< 3年生 >

選択科目を設け、多様な進路に対応した学習を行います。



来年度から双葉高校は1カ所にまとまります。

来年度は4つのサテライトがいわき明星大学に集まることに伴い、寄宿舎も準備されることになっています。(福島県教育委員会発表)

大学の充実した環境で、学習や部活動に打ち込むことができるでしょう。

在校生のメッセージ (潘基文国連事務総長との対話より)

福島南サテライト2年 渡邊 美波

3月11日、14時46分。私はこの時間が来るまで特に大きな問題もなく、平穏な日々を送っていました。しかし、震災に遭って原発事故のため家に帰れなくなりました。私の家は福島原発から10kmのところにあるのです。それからとてもつらい日々を送るようになってしまいました。

毎日毎日、両親に聞くことは「いつ帰れるの?」になってしまいました。避難生活があつという間に経ち、だんだんと焦りが出てきました。学校にも通えず、他の高校生から遅れをとってしまうのではないかというものです。

5月9日からサテライトという形で双葉高校生として通えるようになったことにはとても感謝しています。そのおかげで少しだけでも震災前のような生活を送れています。

多くの人の協力と応援があったからだということを、私たちは一生忘れません。自分がまさか被災者になる日が来るなんて、まったく想像もつきませんでした。そしてこのような状況で自分にとって何が正しい道なのかさっぱり分からなくなりました。

しかし被災してわかったことがあります。普通に生活したり、普通に学校に行って友達と一緒に授業を受けたりすること、人は普通に生きていくことが一番の幸せだということです。また、将来のことも真剣に考えることができました。世界中の人々が私たちの未来を切り開いてくれたことを幸せに思います。

もしかしら17年間住み慣れた自分の家へ帰れないかもしれない。3月11日にいつも通り「また明日ね」と言ったままの友達にももう会えないかもしれない。しかしどこにいても友達だということ、双葉高校生であるということはずっとずっと変わらないことを信じていきます。今はまだ完璧に前を向いて歩こうということはできませんが、自分が辛くて泣いた日々を糧にして、どんな逆境にも負けない強い人間になりたいです。

It was 2:46 p.m. March 11. I had spent peaceful days without facing any big problems up until that time. However the situation changed. We had a massive earthquake, tsunami, and nuclear power plant disaster, and I can't go back home now because my house is located only 10km away from Fukushima Daiichi nuclear power plant. I have spent hard days ever since.

Every single day I'm asking my parents "When will we be able to go back to our house?" After one month in the evacuation center, I was getting impatient. I couldn't go to school and didn't even have my school supplies, and I wondered if I fell behind other high school students.

I am thankful for the support that allowed me to go to Futaba High School in a form of satellite school since May 9. Thanks to that, I can live a life almost same as before the earthquake.

I will never forget that a lot of people really helped me. I've never imagined that I would become one of the evacuees. I couldn't judge what was right at all in such confusion.

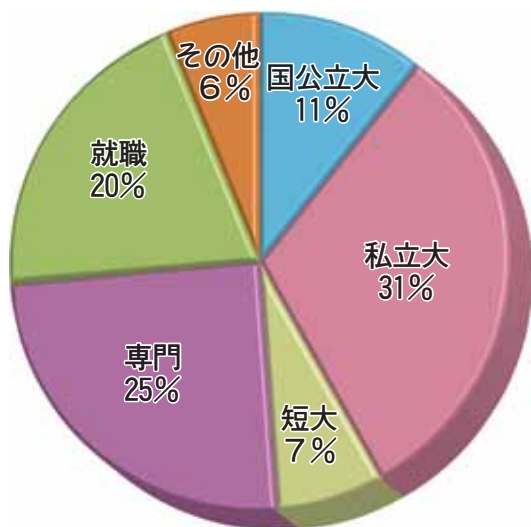
But I learned something very important through this experience. The things I feel happiest is to live normally, go to school as usual, and attend classes together with my friends. Also I came to think of my future seriously by myself. In addition, I really feel happy that people in the world are working together to help us pave the way for our future.

I may not be able to go home where I have lived for 17 years. I may not be able to see the friends to whom I said, "See you tomorrow" as usual on March 11th. But I believe that we are friends wherever we are; and we are students of Futaba high school in the future as well. It may take some more time before I am fully recovered and standing strong, but I promise to myself to become a strong person who will never be defeated at any adversity.

1

平成22年度卒業生

(平成23年3月卒業) 進路先決定状況



2

過去6年間の卒業生進路状況

(現役延べ合格者数)

区分	平成23年 3月	平成22年 3月	平成21年 3月	平成20年 3月	平成19年 3月	平成18年 3月
国立大学	14	12	12	23	22	19
公立大学	4	5	8	5	4	5
私立大学	85	130	188	156	113	127
短期大学	11	12	11	14	11	11
専門 各種学校	38	52	36	36	61	55
就職	31	26	35	27	27	18

※平成22年度卒業生は1クラス減の4クラス

3

主な四年制大学進学状況 (平成22年度)

(1) 国立・公立大学

秋田大 1 山形大 2 福島大 3 茨城大 6 筑波大 1 お茶の水女子大 1 釧路公立大 1
青森県立保健大 1 福島県立医大(看護) 1 会津大 1

(2) 私立大学

石巻専修大 2 尚絅学院大 1 東北学院大 2 東北工業大 2 東北福祉大 6 東北文化学園大 1
いわき明星大 7 日本大 1 茨城キリスト教大 2 筑波学院大 1 つくば国際大 1 流通経済大 1
獨協医科大 1 文星芸術大 1 浦和大 1 城西大 4 駿河台大 3 東京国際大 1 城西国際大 2
亜細亜大 1 桜美林大 1 北里大 1 杏林大 1 駒澤女子大 1 芝浦工業大 1 専修大 1 大正大 1
玉川大 1 帝京大 9 東海大 4 東京家政大 1 東京家政学院大 2 東京工芸大 1 東京福祉大 2
東京電機大 2 東洋大 2 東洋学園大 1 日本映画大 1 明星大 2 目白大 1 神奈川大 2
関東学院大 4 大谷大 1 梅花女子大 1 神戸芸術工科大 1

卒業生より

東日本大震災により、転校を余儀なくされた生徒、サテライトとして双高に残った生徒と状況は様々だと思います。しかし、数多くの先輩に心境を聞いてみると、どの先輩たちも双高が大好きと言っていました。双高生の気持ちはみんな同じでした。これだけ双高生は自分の高校に誇りを持っているということです。これほど素晴らしいことはありません。双葉高校での出会い全てが人生においてかけがえのないものになるはずです。みなさんが素晴らしい高校生になれることを期待しています。私も双高OBとして皆さんを応援しています。頑張ってください。

双高での一番の思い出は、部活動です。部活動が高校生活のすべてにつながっていたと思います。高校生活は想像以上に大変でした。遅くまで練習をやり、そのうえ勉強もなくてはなりません。正直、一年生の頃は練習についていくことで精いっぱいでした。文武両道の難しさのほかに大変なことはありません。怪我、部員間でのコミュニケーション、顧問の先生との付き合い方。様々な要素が重なり、心が折れそうなくらい辛い時期も経験しました。そんな時期を乗り越えることができたのは、心から信頼できる先生方や友人がいたからです。部活だけの話に聞こえるかもしれませんが、この時期に関わってくれたのは、部活の先生やチームメイトだけではありません。諸先生方、クラスメート、先輩後輩など、本当にたくさんの方々を支えてもらいました。



わが母校、「双高」

秋田大学教育文化学部一年 遠藤 大輝

私は高校時代、野球部主将を務めていました。三年間、クラスのルーム長も務めました。文武両道を掲げて臨んだ高校生活は、目標である国立大合格を果たし、部活では東北大会に出場しました。三年間、誰よりも努力し、双高を愛し、楽しむことができたという自負があります。人生一度しかない高校生活を大好きな双高で送れたことはとても幸せです。これからの人生において、双高で学んだことすべてがかけがえのない財産になることと思います。

生徒の活動



▶インターハイ出場
(陸上部)



▲国連事務総長潘基文氏との対話

▶野球の全校応援



▲サテライト協力校でのスポーツ大会



▲ソフトテニス部の練習



▶赤べこ絵付け体験



▲サテライト協力校での文化祭



▲吹奏楽部の練習

平成23年度 部活動成績

- 野球部** 第42回秋季相双地区高等学校野球 優勝 (相双福島)
 第63回秋季東北地区高等学校野球 県大会出場 (相双福島)
- 陸上部** 東北高等学校陸上競技大会 男子三段跳 6位 (インターハイ出場)
 福島県高等学校体育大会陸上競技 男子やり投げ 5位 (東北大会出場)
 男子三段跳 3位 (東北大会出場)
- ソフトテニス部**
 福島県高等学校体育大会ソフトテニス競技
 女子個人 3位 (東北・全国大会出場)
- 剣道部** 福島県高等学校体育大会剣道競技
 女子個人 ベスト8 (東北大会出場)

